
山元町 津波により被災された方々への
今後の住まい等に関する調査
調 査 報 告 書

平成 23 年 11 月

山元町 震災復興推進課

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査方法	1
4	回収結果	2
5	報告書を読む際の留意点	2

II 調査結果の集計・分析

1	ご自身について	3
(1)	震災前の主な仕事	3
(2)	震災後の主な仕事	4
2	東日本大震災発生前のお住まいについて	5
(1)	震災前の住居形態	5
(2)	震災前の住宅敷地規模（敷地面積）	6
(3)	震災前の住宅建物規模（延床面積）	7
3	お住まいの被災状況等について	8
(1)	住宅被災状況	8
(2)	被災住宅の現在の状況	9
4	今後のお住まいについて	10
(1)	希望の居住地	10
(2)	希望の居住場所	11
(3)	希望の住居形態	12
(4)	希望の敷地規模（敷地面積）	13
(5)	今後の住宅購入・建設資金	14
(6)	住宅被災状況×被災住宅の現在の状況	15
(7)	希望の居住地×住宅被災状況	16
(8)	住宅被災状況×希望の住居形態	17
(9)	希望の居住地×希望の居住場所	18

III 調査票

調査票	19
-----	----

I

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

東日本大震災の津波で被災された方々に、これからの居住地や住まい等について具体的な意向を伺い、新たに必要となる居住地の必要量、公営住宅の規模、被災者の負担軽減を図るための事業手法等を検討することを目的に調査を実施した。

2. 調査項目

- (1) ご自身について
 - ①震災前の主な仕事
 - ②震災後の主な仕事
- (2) 東日本大震災発生前のお住まいについて
 - ①震災前の住居形態
 - ②震災前の住宅敷地規模（敷地面積）
 - ③震災前の住宅建物規模（延床面積）
- (3) お住まいの被災状況等について
 - ①住宅被災状況
 - ②被災住宅の現在の状況
- (4) 今後のお住まいについて
 - ①希望の居住地
 - ②希望の居住場所
 - ③希望の住居形態
 - ④希望の敷地規模（敷地面積）
 - ⑤今後の住宅購入・建設資金

3. 調査方法

平成 23 年 3 月 11 日を基準日とし、津波により被災された 2,498 世帯（発災後に転出された 358 世帯を含む）を対象に、調査を実施した。

■配布・回収方法：郵送にて配布・回収

■調査期間：8 月 24 日（水）から 9 月 9 日（金）

4. 回収結果

■配布数：2,498 票

■回収数：1,807 票

■回収率：72.3%

5. 報告書を読む際の留意点

- (1) n (number of cases) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。したがって、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

Ⅱ

調査結果の集計・分析

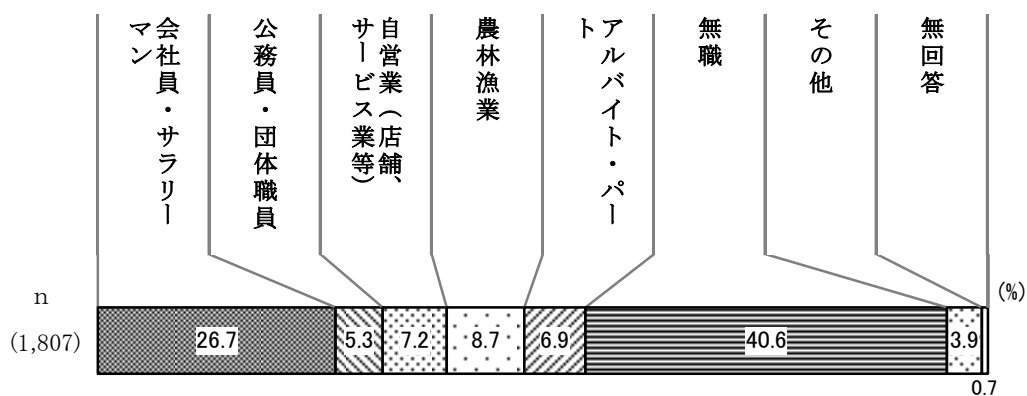
1

ご自身について

(1)震災前の主な仕事

- ・震災前は「会社員・サラリーマン」が最も多く 26.7%
- ・「無職」は約 4 割

問 3 震災前の主なお仕事は（番号を○で囲んで下さい）



問 3 震災前の主な仕事

調査数	会社員・サラリーマン	公務員・団体職員	自営業（店舗、サービス業等）	農林漁業	アルバイト・パート	無職	その他	無回答
1807	483	95	130	157	124	734	71	13
100.0	26.7	5.3	7.2	8.7	6.9	40.6	3.9	0.7

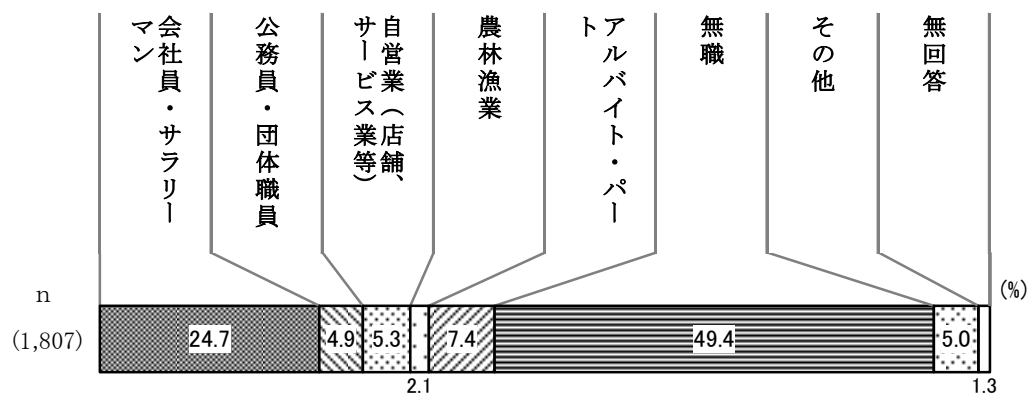
■「その他」の回答概要

- ・ 役場臨時職員
- ・ 契約社員
- ・ 病院勤務
- ・ 大工
- ・ 派遣社員
- ・ 会社役員
- ・ 講師
- ・ 看護師 など

(2)震災後の主な仕事

- ・「無職」が約半数を占め、震災前に比べ約9ポイント増加
- ・「農林漁業」は震災前から約7ポイント減少（8.7%→2.1%）
- ・「会社員・サラリーマン」（24.7%）は震災前とほぼ同割合

問4 震災後の主なお仕事は（番号を○で囲んで下さい）



問4 震災後の主な仕事

調査数	会社員・サラリーマン	公務員・団体職員	自営業（店舗、サービス業等）	農林漁業	アルバイト・パート	無職	その他	無回答
1807	446	88	95	38	133	893	91	23
100.0	24.7	4.9	5.3	2.1	7.4	49.4	5.0	1.3

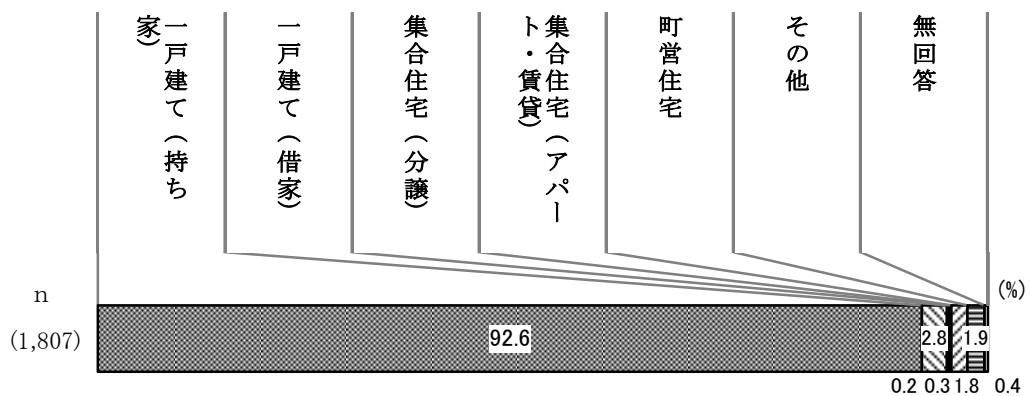
■「その他」の回答概要

- ・ 役場臨時職員
- ・ 契約社員
- ・ 病院勤務
- ・ 大工
- ・ 派遣社員
- ・ 会社役員
- ・ 講師
- ・ 看護師 など

(1)震災前の住居形態

- ・「一戸建て」に居住している人が全体の 95.4%で、その大多数が「持ち家」
- ・集合住宅や町営住宅の居住者は 2%程度

問 5 震災前のお住まいの形態はどれですか。(番号を○で囲んで下さい)



問 5 震災前の住居形態

調査数	一戸建て（持ち家）	一戸建て（借家）	集合住宅（分譲）	集合住宅（アパート・賃貸）	町営住宅	その他	無回答
1807	1673	51	3	6	32	35	7
100.0	92.6	2.8	0.2	0.3	1.8	1.9	0.4

■「その他」の回答概要

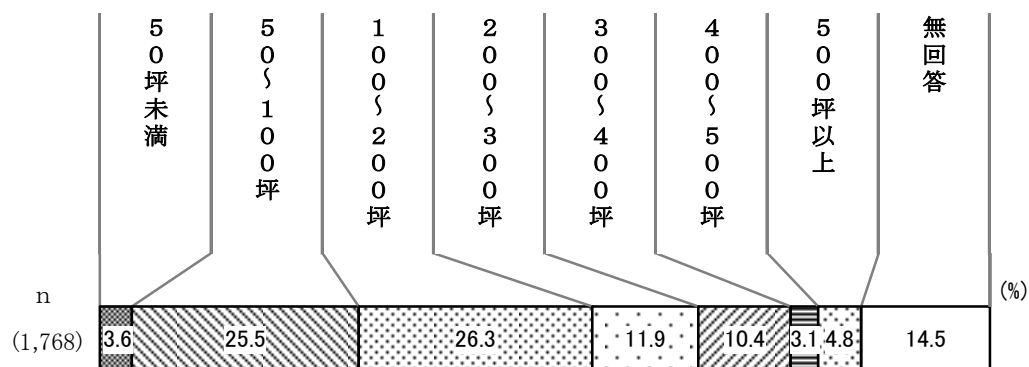
- ・老人福祉施設、老人ホーム
- ・ケアハウス
- ・社員寮 など

(2)震災前の住宅敷地規模(敷地面積)

- ・ 敷地面積は「100～200 坪」(26.3%)、「50～100 坪」(25.5%) の順で、あわせて全体の約半数を占める
- ・ 敷地面積の平均は約 191 坪

問 6 震災前の住宅敷地規模(敷地面積)

注) 問 5 で「5. 町営住宅」を選んだ方のみ回答



問 6 震災前の住宅敷地規模

調査数	平均	最小値	最大値
1512 100.0	190.8	16	4822

問 6 震災前の住宅敷地規模 (7 区分)

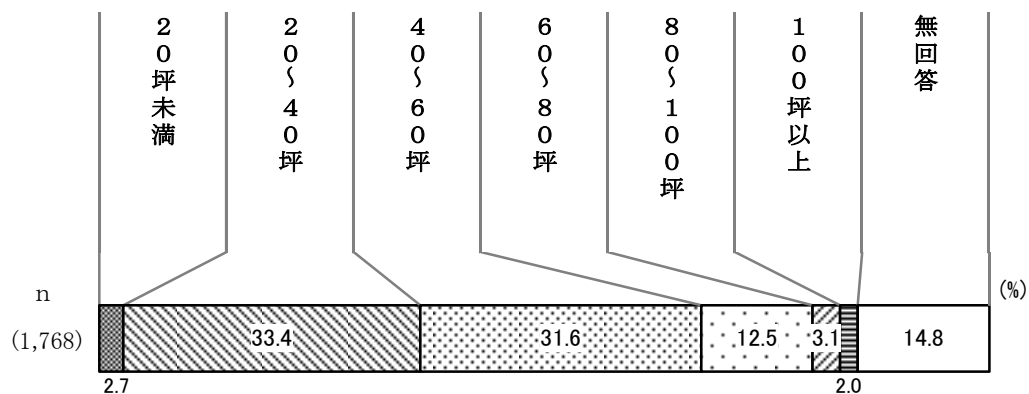
調査数	50 坪未満	50 坪～100 坪	100 坪～200 坪	200 坪～300 坪	300 坪～400 坪	400 坪～500 坪	500 坪以上	無回答
1768 100.0	64 3.6	450 25.5	465 26.3	210 11.9	184 10.4	54 3.1	85 4.8	256 14.5

(3)震災前の住宅建物規模(延床面積)

- ・延床面積は「20～40 坪」(33.4%)、「40～60 坪」(31.6%) の順で、あわせて全体の 6 割以上を占める
- ・延床面積の平均は約 47 坪

問 7 震災前の住宅建物規模（延床面積）

注）問 5 で「5. 町営住宅」を選んだ方のみ回答



問 7 震災前の住宅建物規模

調査数	平均	最小値	最大値
1506 100.0	46.5	6	600

問 7 震災前の住宅建物規模（6 区分）

調査数	20 坪未満	20 坪～40 坪	40 坪～60 坪	60 坪～80 坪	80 坪～100 坪	100 坪以上	無回答
1768 100.0	48 2.7	590 33.4	558 31.6	221 12.5	54 3.1	35 2.0	262 14.8

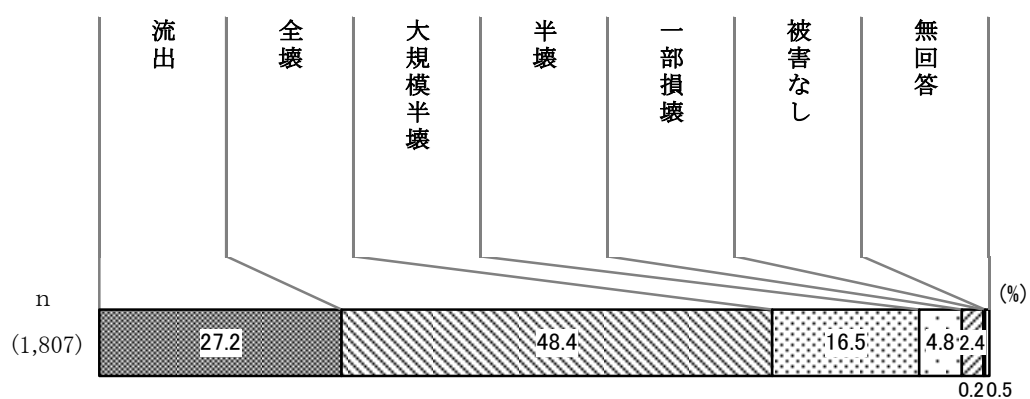
3

お住まいの被災状況等について

(1)住宅被災状況

- ・住宅の被災状況は「全壊」が48.4%と全体の約半数
- ・「流出」(27.2%)を含めると、住宅被害の大きい世帯は約8割

問 8 住宅の被災状況は（番号を○で囲んで下さい）



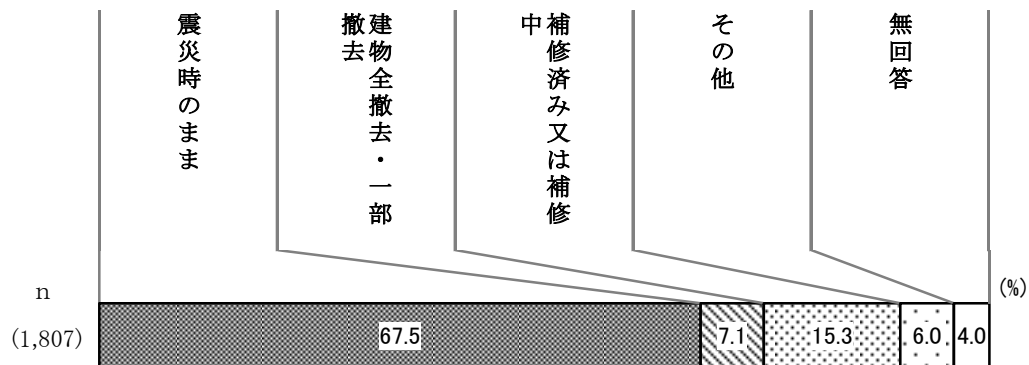
問 8 住宅被災状況

調査数	流出	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし	無回答
1807	492	875	298	86	43	4	9
100.0	27.2	48.4	16.5	4.8	2.4	0.2	0.5

(2)被災住宅の現在の状況

- ・被災住宅の現状は、「震災時のまま」の世帯が 67.5%
- ・「建物全撤去・一部撤去」の世帯は約 1 割未満

問 9 現在の被災住宅の状況は（番号を○で囲んで下さい）



問 9 被災住宅の現在の状況

調査数	震災時のまま	建物全撤去・一部撤去	補修済み又は補修中	その他	無回答
1807	1219	129	277	109	73
100.0	67.5	7.1	15.3	6.0	4.0

■「その他」の回答概要

- ・自分でできることまで片付けました
- ・生活に緊急のものだけ補修
- ・1階浸水した内装と床はがし、泥出し
- ・家の中のみ片付けた
- ・補修するつもりだが見積りの状況
- ・今後改築予定
- ・片付けをし、補修はせず
- ・補修申請中
- ・補修時期を検討中
- ・片付けして同じところに住んでいる
- ・壁、床をはがし、断熱材を撤去中
- ・貸主と協議中
- ・強い地震が来るたび壊れてきている
- ・泥をかき出しただけ
- ・コンクリートの土台のみ残った
- ・床下汚泥除去・洗浄・消毒後補修可能
- ・解体撤去支援申請中
- ・孫の家に住んでいる
- ・泥、がれき出し中
- ・など

4

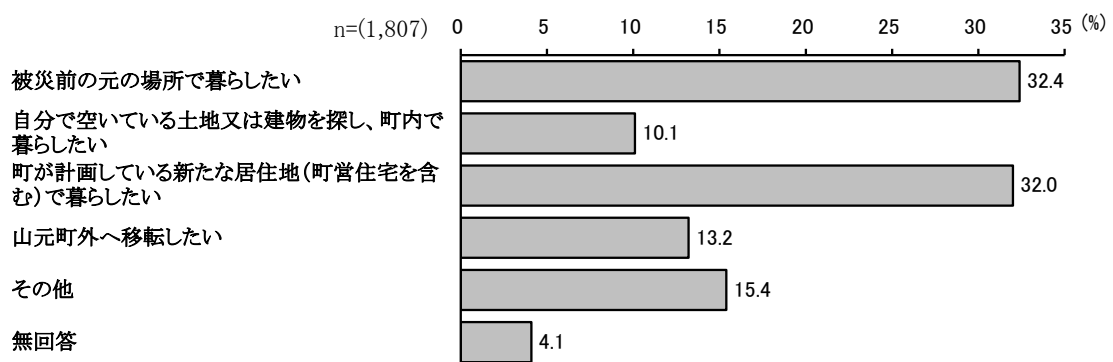
今後のお住まいについて

(1)希望の居住地

- ・被災前の元の場所での生活を希望する世帯は 32.4%
- ・半数以上（55.3%）の世帯が移転を希望しており、町外への移転希望者は約 1 割
- ・全体の約 3 割が、町の用意する居住地での生活を希望している

問 10 今後の居住地はどちらを希望しますか。（番号を○で囲んで下さい）

注）複数回答があります



問 10 希望の居住地

調査数	被災前の元の場所 で暮らした	自分で空いて いる土地又は 建物を探し、 町内で暮ら したい	町が計画して いる新たな居 住地(町営住 宅を含む)で 暮らしたい	山元町外へ 移転したい	その他	無 回 答
1807	586	182	579	238	279	74
100.0	32.4	10.1	32.0	13.2	15.4	4.1

■「その他」の回答概要

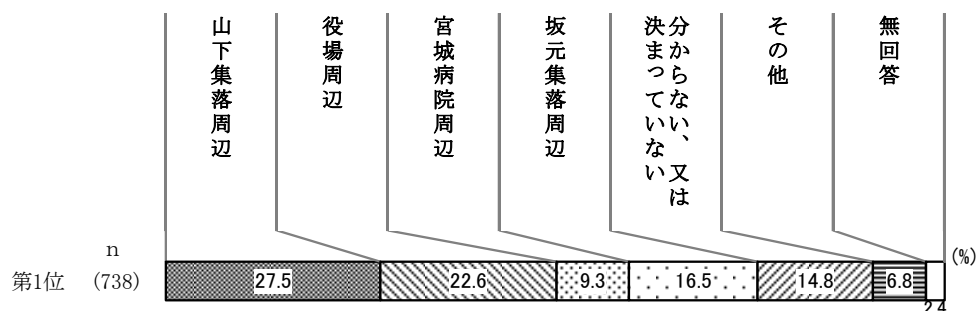
- ・ 分からない、又決まっていない
- ・ 常磐線の開通時期により変わる
- ・ 町の復興計画を見てから決める
- ・ 年齢的に家計や病氣通院、その他の事を考えるとまだ迷っています
- ・ JRが2～3年のうちに復旧しなければ移転
- ・ 孫の高校進学に合わせて住む土地が決まる など
- ・ 震災前の場所に住んでいる
- ・ 町外に移転済み

(2)希望の居住場所

- ・希望する居住場所としては「役場周辺」が45.5%と最も多く、次いで「山下集落周辺」が41.3%
- ・約4人に1人が「わからない、又は決まっていない」と回答

【(問10)で「2」、「3」を選んだ方へ】

問11 今後の居住地として、どの場所を希望しますか。最も望ましい場所を優先順位1位とし、次の場所を優先順位2位として、下記の記入欄に該当する番号をお書きください。



【参考】 第2位 (n=738)

山下集落周辺	役場周辺	宮城病院周辺	坂元集落周辺	決まっていない、又は	その他	無回答
13.8	22.9	18.0	5.7	11.8	4.5	23.3

問11 希望の居住場所

	調査数	山下集落周辺	役場周辺	宮城病院周辺	坂元集落周辺	決まっていない、又は	その他	無回答
第1位	738	203	167	69	122	109	50	18
	100.0	27.5	22.6	9.3	16.5	14.8	6.8	2.4
第2位	738	102	169	133	42	87	33	172
【参考】	100.0	13.8	22.9	18.0	5.7	11.8	4.5	23.3

■「その他」の回答概要

- ・山手の方を探している
- ・駅の場所かわる
- ・大平、小平周辺 など
- ・鉄道、新駅の近く徒歩10分以内
- ・国道6号周辺

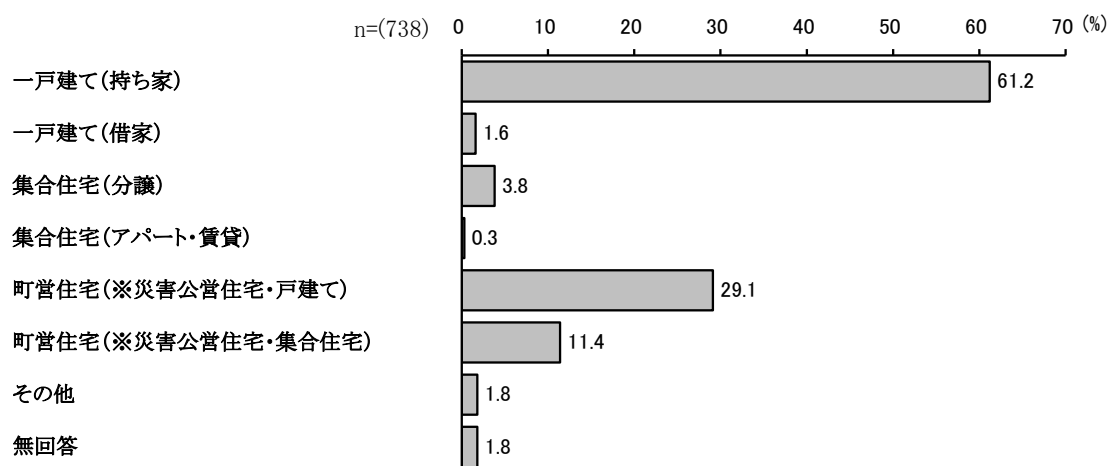
(3)希望の住居形態

- ・「一戸建て（持ち家）」を希望する世帯が61.2%と最も多い
- ・災害公営住宅を希望している世帯は約4割
- ・希望の住居を複数回答している世帯の約4割は、町営住宅の「戸建て」と「集合住宅」に回答し、町営住宅であれば、どちらでもよいという意向が読み取れる

【(問10)で「2」、「3」を選んだ方へ】

問12 今後のお住まいはどのような形態を希望しますか。(番号を○で囲んで下さい)

注) 複数回答があります



問12 希望の住居形態

調査数	一戸建て (持ち家)	一戸建て (借家)	集合住宅 (分譲)	集合住宅 (アパート・賃貸)	町営住宅 (※災害公営住宅・戸建て)	町営住宅 (※災害公営住宅・集合住宅)	その他	無回答
738	452	12	28	2	215	84	13	13
100.0	61.2	1.6	3.8	0.3	29.1	11.4	1.8	1.8

■「その他」の回答概要

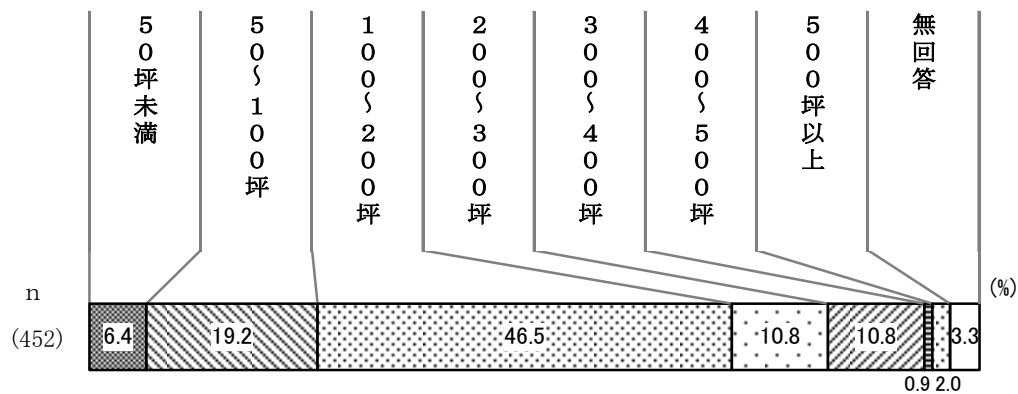
- ・高齢者向医療付マンション形式のもの
- ・老人ホーム
- ・今後も生活できるようにしてほしい など

(4)希望の敷地規模(敷地面積)

- ・希望する敷地規模は「100～200 坪」が 46.5%
- ・震災前の敷地規模の平均が約 191 坪であり、震災前と同様に平均的な広さの敷地を望む世帯が多い

【(問 12) で「1」を選んだ方へ】

問13 今後の住まいは、どの程度の敷地規模（敷地面積）を希望しますか。



問 1 3 希望の敷地規模

調査数	平均	最小値	最大値
437 100.0	146.9	15	600

震災前の住宅敷地規模 (問 6)

1512 100.0	190.8	16	4822
---------------	-------	----	------

問 1 3 希望の敷地規模 (7 区分)

調査数	50 坪未満	50 坪～100 坪	100 坪～200 坪	200 坪～300 坪	300 坪～400 坪	400 坪～500 坪	500 坪以上	無回答
452 100.0	29 6.4	87 19.2	210 46.5	49 10.8	49 10.8	4 0.9	9 2.0	15 3.3

震災前の住宅敷地規模 (問 6)

1768 100.0	64 3.6	450 25.5	465 26.3	210 11.9	184 10.4	54 3.1	85 4.8	256 14.5
---------------	-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-----------	-------------

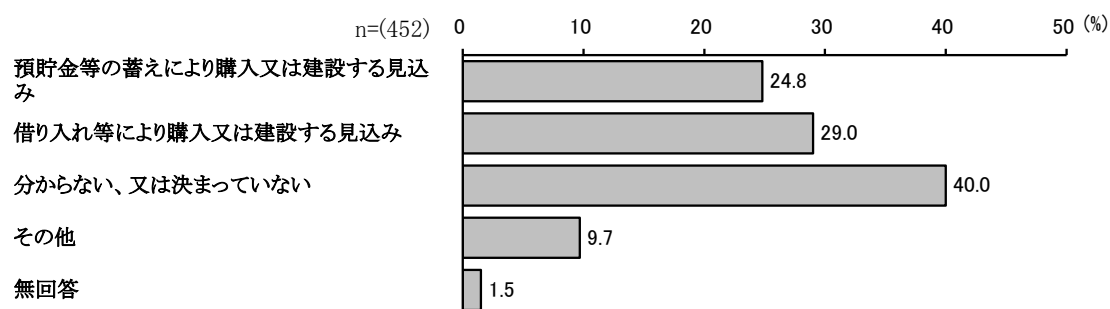
(5)今後の住宅購入・建設資金

- ・今後の住宅購入や建設資金は「分らない又は決まっていない」が最も多く 40.0%
- ・複数回答者の多くは貯蓄と借入の併用を考えている

【(問 12) で「1」を選んだ方へ】

問14 今後の住宅の購入又は建設資金はどのように考えていますか。

注) 複数回答があります



問 1.4 今後の住宅購入・建設資金

調査数	は預貯金等の蓄えにより購入又は建設する見込み	借り入れ等により購入又は建設する見込み	分らない、又は決まっていない	その他	無回答
452	112	131	181	44	7
100.0	24.8	29.0	40.0	9.7	1.5

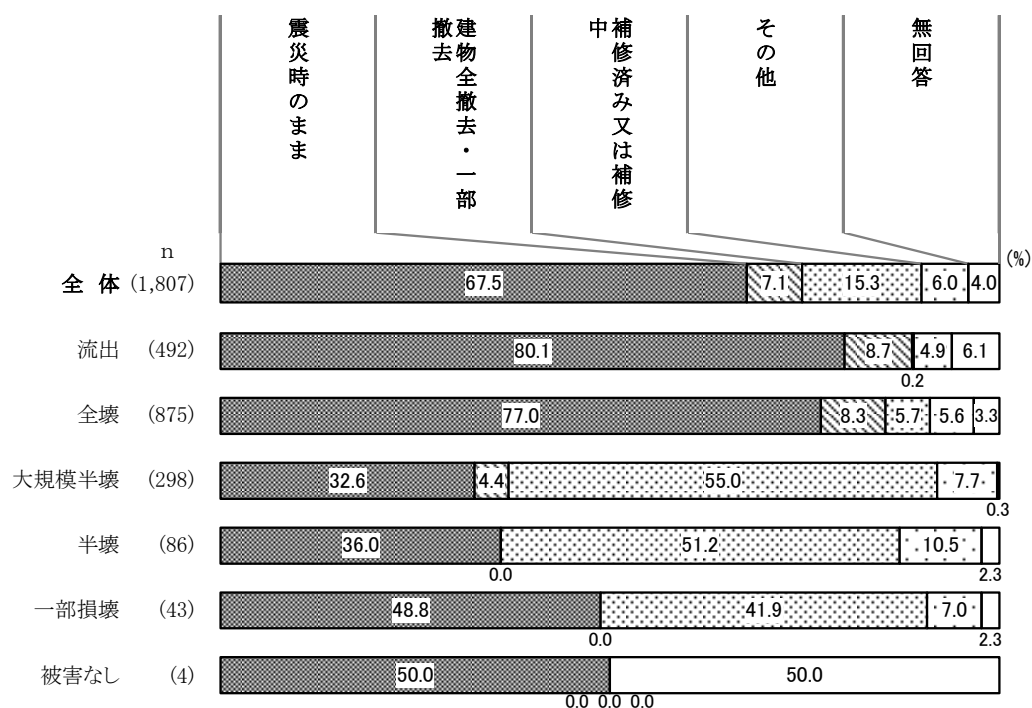
■「その他」の回答概要

- ・宅地（被災宅地）を国等で買上げて欲しい。不足分を自己資金や借入
- ・現在の土地と町の計画している地域の土地を無償で交換して貰い、建物の費用の何割かの補助をして貰えればと希望しています
- ・借り入れ可能なら借りたい など

(6)住宅被災状況×被災住宅の現在の状況

- ・全壊している世帯の約1割は「建物全撤去・一部撤去」を進めている
- ・大規模半壊、半壊、一部損壊の世帯では約4～5割の世帯が「補修済み又は補修中」と回答して住宅再建を行っている

問8×問9



問 9 被災住宅の現在の状況

	調査数	震災時のまま	建物全撤去・一部撤去	補修済み又は補修中	その他	無回答
全 体	1807	1219	129	277	109	73
	100.0	67.5	7.1	15.3	6.0	4.0

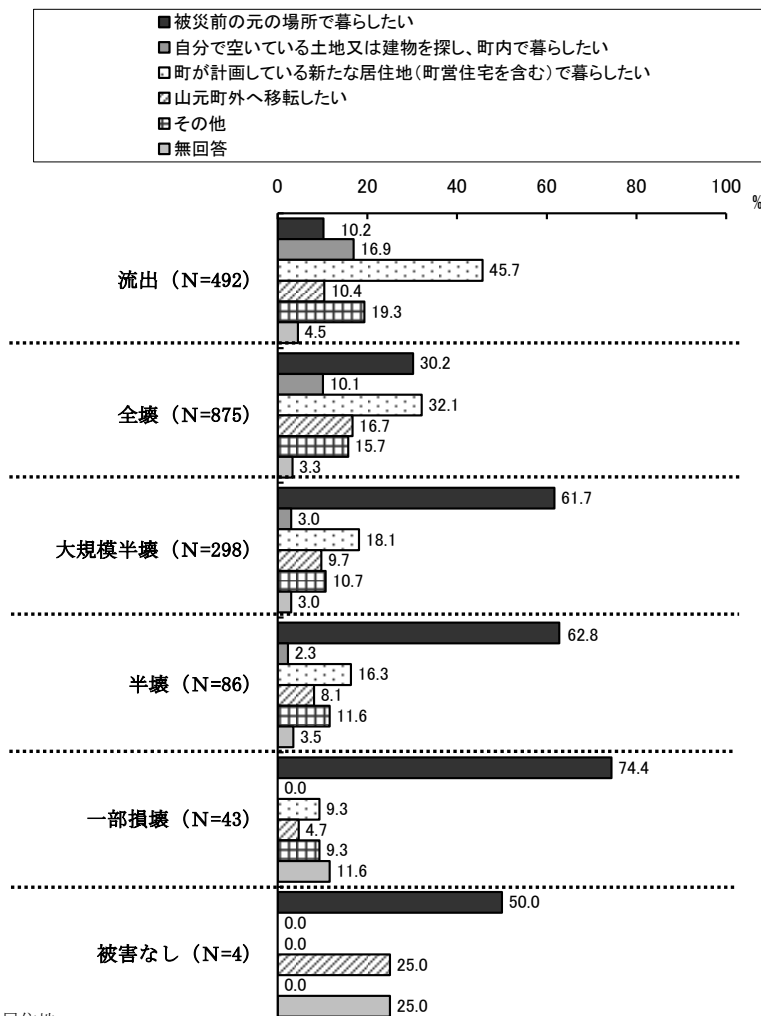
問 8 住宅被災状況

流出	492	394	43	1	24	30
	100.0	80.1	8.7	0.2	4.9	6.1
全壊	875	674	73	50	49	29
	100.0	77.0	8.3	5.7	5.6	3.3
大規模半壊	298	97	13	164	23	1
	100.0	32.6	4.4	55.0	7.7	0.3
半壊	86	31	-	44	9	2
	100.0	36.0	-	51.2	10.5	2.3
一部損壊	43	21	-	18	3	1
	100.0	48.8	-	41.9	7.0	2.3
被害なし	4	2	-	-	-	2
	100.0	50.0	-	-	-	50.0

(7)希望の居住地×住宅被災状況

- ・流出、全壊の世帯では6～7割が「移転したい」と回答しており、特に「町が計画する居住地での暮らしを希望する」世帯は3～4割と多い
- ・大規模半壊、半壊、一部損壊の世帯では6～7割が「被災前の元の場所で暮らしたい」と回答

問8×問10



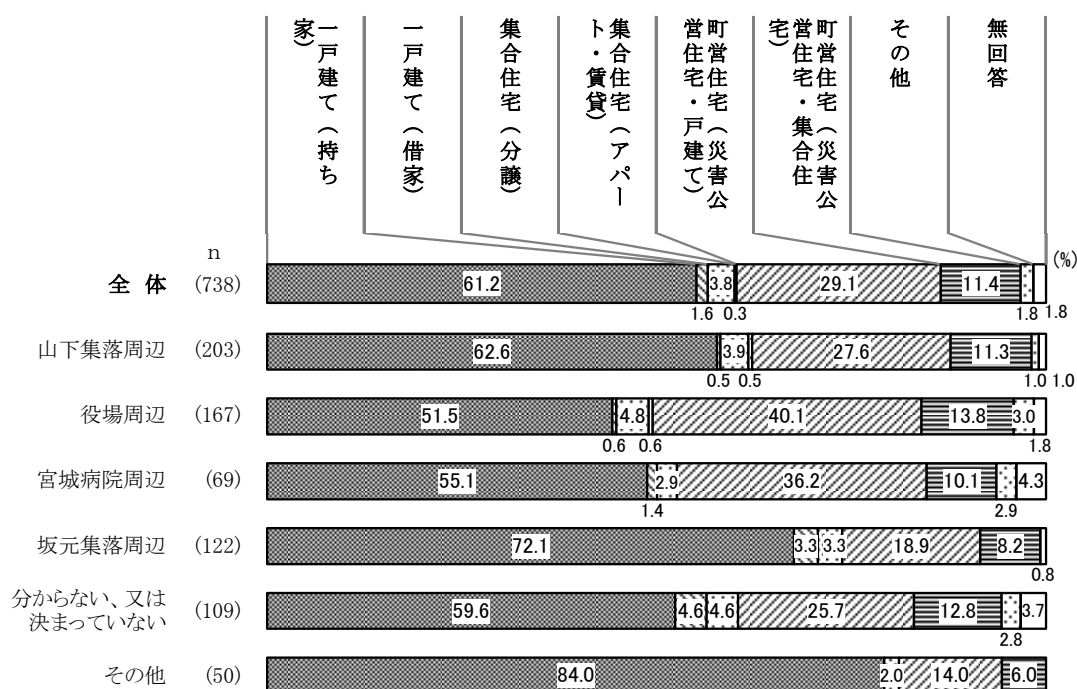
問10 希望の居住地

	調査数	被災前の元の場所で暮らしたい	自分で空いている土地又は建物を探し、町内で暮らしたい	町が計画している新たな居住地(町営住宅を含む)で暮らしたい	山元町外へ移転したい	その他	無回答
全 体	1807	586	182	579	238	279	74
	100.0	32.4	10.1	32.0	13.2	15.4	4.1
問8 住宅被災状況							
流出	492	50	83	225	51	95	22
	100.0	10.2	16.9	45.7	10.4	19.3	4.5
全壊	875	264	88	281	146	137	29
	100.0	30.2	10.1	32.1	16.7	15.7	3.3
大規模半壊	298	184	9	54	29	32	9
	100.0	61.7	3.0	18.1	9.7	10.7	3.0
半壊	86	54	2	14	7	10	3
	100.0	62.8	2.3	16.3	8.1	11.6	3.5
一部損壊	43	32	-	4	2	4	5
	100.0	74.4	-	9.3	4.7	9.3	11.6
被害なし	4	2	-	-	1	-	1
	100.0	50.0	-	-	25.0	-	25.0

(8)希望の居住場所×希望の住居形態

- ・「山下集落周辺」及び「坂元集落周辺」を希望する世帯では、一戸建ての希望が6～7割と多い
- ・一方、「役場周辺」及び「宮城病院周辺」を希望する世帯では、町営住宅の希望が5割を占め、「山下集落周辺」及び「坂元集落周辺」では3割と少ない傾向

問11×問12



問12 希望の住居形態

	調査数	一戸建て（持ち家）	一戸建て（借家）	集合住宅（分譲）	集合住宅（アパート・賃貸）	戸建て町営住宅（※災害公営住宅・戸建て）	集合住宅町営住宅（※災害公営住宅・集合住宅）	その他	無回答
全 体	738	452	12	28	2	215	84	13	13
	100.0	61.2	1.6	3.8	0.3	29.1	11.4	1.8	1.8

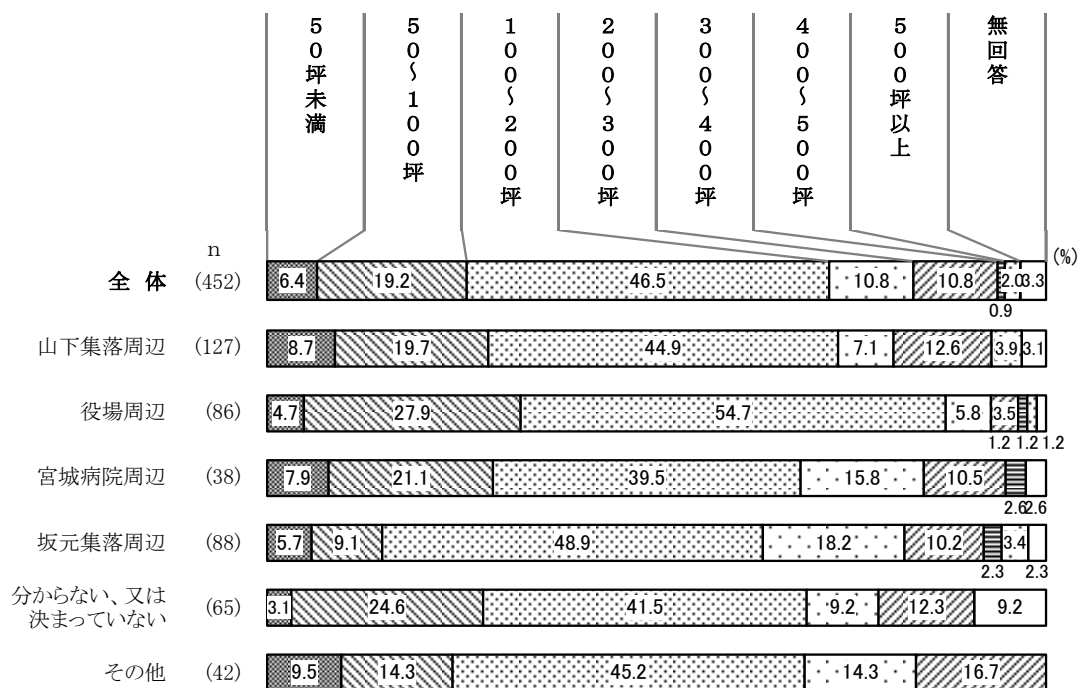
問11 希望の居住場所（第1位）

	調査数	一戸建て（持ち家）	一戸建て（借家）	集合住宅（分譲）	集合住宅（アパート・賃貸）	戸建て町営住宅（※災害公営住宅・戸建て）	集合住宅町営住宅（※災害公営住宅・集合住宅）	その他	無回答
山下集落周辺	203	127	1	8	1	56	23	2	2
	100.0	62.6	0.5	3.9	0.5	27.6	11.3	1.0	1.0
役場周辺	167	86	1	8	1	67	23	5	3
	100.0	51.5	0.6	4.8	0.6	40.1	13.8	3.0	1.8
宮城病院周辺	69	38	1	2	-	25	7	2	3
	100.0	55.1	1.4	2.9	-	36.2	10.1	2.9	4.3
坂元集落周辺	122	88	4	4	-	23	10	-	1
	100.0	72.1	3.3	3.3	-	18.9	8.2	-	0.8
分からない、又は決まっていない	109	65	5	5	-	28	14	3	4
	100.0	59.6	4.6	4.6	-	25.7	12.8	2.8	3.7
その他	50	42	-	1	-	7	3	-	-
	100.0	84.0	-	2.0	-	14.0	6.0	-	-

(9)希望の居住場所×希望の敷地規模×希望の住居形態

- ・ 全体的には、震災後の敷地面積は震災前の7割程度の希望
- ・ 震災後の希望の居住場所別の平均面積は「役場周辺」が121坪、「坂元集落周辺」が171坪で、「坂元集落周辺」を希望する世帯が若干広い敷地を求める結果

問11×問13×問12（一戸建てと回答した人）



問13 希望の敷地規模（7区分）

	調査数	50坪未満	50～100坪	100～200坪	200～300坪	300～400坪	400～500坪	500坪以上	無回答	平均敷地面積（震災前） (坪)	平均敷地面積（希望） (坪)
全 体	452	29	87	210	49	49	4	9	15	218.3	146.9
問11 希望の居住場所（第1位）											
山下集落周辺	127	11	25	57	9	16	-	5	4	224.2	149.8
役場周辺	86	4	24	47	5	3	1	1	1	186.2	121.0
宮城病院周辺	38	3	8	15	6	4	1	-	1	200.3	147.0
坂元集落周辺	88	5	8	43	16	9	2	3	2	267.6	170.8
分からない、又は決まっていない	65	2	16	27	6	8	-	-	6	181.6	136.5
その他	42	4	6	19	6	7	-	-	-	211.7	147.3

Ⅲ

調査票

山元町 津波により被災された方々への 今後の住まい等に関する調査

このたびの東日本大震災により、被災された町民の皆さまには心からお見舞い申し上げます。

さて、町では、先般策定した「震災復興基本方針」を踏まえ、今後、より具体的な「震災復興計画」を策定するとともに、実際の各分野において、事業化に向けた検討を進めていく予定です。

今回の調査は、津波で被災された方々に、これからの居住地や住まい等について、より具体的なご意向をお伺いし、新たに必要となる居住地の必要量、公営住宅の規模、皆様の負担軽減を図るための事業手法等を検討する際の参考資料とするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力頂きますようお願いいたします。

【注意事項】

- ※ ご回答は、ご家族の方と相談しながら、世帯主の方がお答えください。
- ※ 調査票に記入いただきましたら、**9月9日(金)**までに、同封の封筒に入れて投函して下さい。
(調査票の到着が遅れた場合には、申し訳ありませんが、極力お早めに返送いただきますよう、ご協力お願いいたします。)
- ※ 回答は、個人情報として厳重に管理し、調査の目的以外には一切使用いたしません。また、個人が特定できる形での集計結果の公表はいたしません。
- ※ 今回の調査は、家屋の移転等に対する最終的な意思を確認するものではありません。今後も引き続き、計画の進み具合に合わせて意向を確認させていただく予定としています。

平成 23 年 8 月



山 元 町

担当 震災復興推進課 連絡先 0223-37-0497

4. 今後の住まいについて

(問10) 今後の居住地はどちらを希望しますか。(番号を○で囲んで下さい)

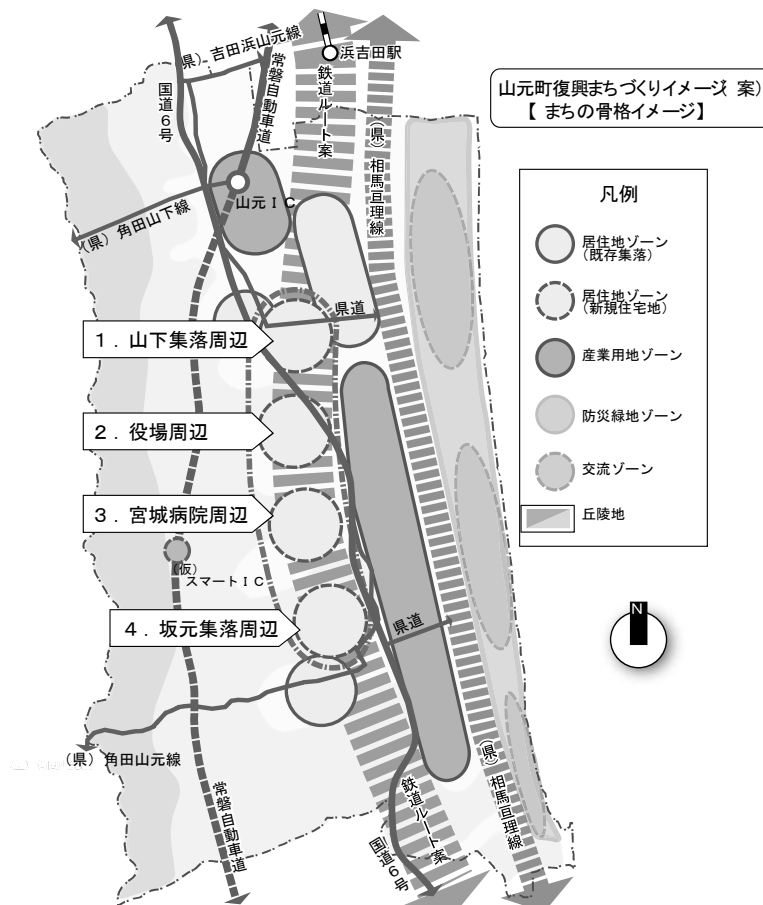
- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. 被災前の元の場所で暮らしたい | ⇒5.自由意見へ |
| 2. 自分で空いている土地又は建物を探し、町内で暮らしたい | ⇒(問11)以降へ |
| 3. 町が計画している新たな居住地(町営住宅を含む)で暮らしたい | ⇒(問11)以降へ |
| 4. 山元町外へ移転したい | ⇒5.自由意見へ |
| 5. その他(具体的に) | |

【(問10)で「2」、「3」を選んだ方へ】

(問11) 今後の居住地として、どの場所を希望しますか。最も望ましい場所を優先順位1位とし、次の場所を優先順位2位として、下記の記入欄に該当する番号をお書きください。

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 山下集落周辺 | |
| 2. 役場周辺 | |
| 3. 宮城病院周辺 | |
| 4. 坂元集落周辺 | |
| 5. 分からない、又は決まっていない | |
| 6. その他(具体的に) | |

優先順位	番号
1位	
2位	



(問12) 今後のお住まいはどのような形態を希望しますか。(番号を○で囲んで下さい)

1. 一戸建て（持ち家） ⇒(問 13、14)へ
2. 一戸建て（借家）
3. 集合住宅（分譲）
4. 集合住宅（アパート・賃貸）
5. 町営住宅（※災害公営住宅・戸建て）
6. 町営住宅（※災害公営住宅・集合住宅）
7. その他（具体的に ） ⇒「1」以外の方は「5.自由意見」へ

※災害公営住宅とは、災害の発生により、住居を失った被災者のために建設する町営住宅（有料）です。

【(問 12)で「1」を選んだ方へ】

(問13) 今後の住まいは、どの程度の敷地規模(敷地面積)を希望しますか

約 坪 (約 m^2)

(問14) 今後の住宅の購入又は建設資金はどのように考えていますか。

1. 預貯金等の蓄えにより購入又は建設する見込み
2. 借入れ等により購入又は建設する見込み
3. 分からない、又は決まっていない
4. その他（具体的に

5. 今後の住まいや復興まちづくりについて自由にご意見をお書きください。

[illegible]

～ ご協力ありがとうございました。 ～

